

白川町立佐見小学校

活動の種類 (複数回答可)	健康・安全 奉仕 国際理解・親善 その他 ()
活動の単位	全校 学年 委員会 クラブ その他 ()
教育課程上の 主な位置づけ	教科 道徳 特別活動 総合的な学習 児童会・生徒会活動 委員会・部活動 学校行事 その他 ()

1. テーマ

人との関わりを通して福祉の心を育てる児童の育成

2. 学校紹介

本校は加茂郡の中でも山間へき地に位置し、山々に囲まれた自然豊かな場所に位置しています。全校児童数は47名で、山間小規模校の特性を生かし、一人一人の児童に寄り添い、豊かな心や確かな学力の育成に努めています。また、地域の方々は学校教育への期待が大きく、行事等に積極的に参加され協力的です。

このような中で本校は、異年齢集団による田植え体験や、感謝とおもてなしの心を大切に地域の方や祖父母・保護者の方と交流を深める「佐見っ子まつり」、地域への福祉体験活動、伝統文化活動(子ども佐見歌舞伎、子ども獅子舞)を通して、地域への愛情と誇りを育て、ふるさと佐見を再認識させ、地域社会人としての素地を育てています。

3. 活動内容

(1) 奉仕活動

年4回(春、夏、秋、冬)、地域・親子資源回収を行いました。本校職員もボランティアとして全員参加し、資源回収に協力しました。その際、地域の方や保護者、児童に一目で分かるよう上着(ポロシャツ)を作り、奉仕活動への啓発及び職員の意識向上に役立て地域の中の学校をアピールしました。地域や保護者に積極的に関わる職員の姿を発信することで、学校へ対する信頼が大きく高まりました。また、夏休みに行った「親子校舎内外美化活動」でも上着を着用し、教職員のまとまりや一体感を示すことができました。

こうした姿を発信することで、受け身であった児童の姿が自ら進んで行う姿へと変わり、奉仕活動への意識が高まってきました。



(2) 地域とのふれあい活動

2年に一度開催される佐見歌舞伎に「子ども歌舞伎」として参加させていただき、総合的な学習の時間の成果を保護者や地域の方に発表することができました。また、「佐見っ子まつり」では、ゲームや餅つき、地域の方の協力で育てた餅米や野菜をお餅や豚汁として振る舞い、感謝とおもてなしの気持ちを伝えることができました。地域の方や祖父母に積極的に関わることで、相手を気遣う話し方や接し方など、思いやりのある態度や場に応じたコミュニケーション力が育ってきました。また、6年生は地域にある福祉施設を訪れ、高齢者の方と接することで、温かなまなざしで接する態度を養うことができました。



(3) ペットボトルキャップ回収運動

全校児童、全職員で家庭から持ち寄ったペットボトルキャップの回収を行い、ワクチンに代える運動を行っています。病気で苦しむ子を救いたいという児童会の思いからスタートしました。活動としては地味ですが、福祉の心を育むことにつながっています。



ここがポイント	活動が学校のよい伝統として、児童や保護者へ引き継がれています。
ここがねらい	自主的に活動を進めています。 地域や祖父母等へ働きかけることで、人とかかわる力が身に付き、地域のよさを再認識し、地域への愛情や誇りが育ちます。
効 果	相手に応じた思いやりのある接し方ができるようになってきています。 地域のよさを実感し、自分の住んでいる町や学校を自慢できる子になっています。
学校等のコメント	どんな活動も目的を明らかにし、継続することで、児童に力が身に付くと考えています。

担当者氏名： 河井 信幸